

うちゅうひこうし  
きみは宇宙飛行士

宇宙食・宇宙のトイレ まるごとハンドブック



ロウイー・ストーウェル/文

たけうち かゆる 竹内 薫/監訳 竹内 さなみ/訳

偕成社[649]



うちゅう 宇宙へ行ってみたいと思ったことはありませんか？宇宙に行く方法はいくつかあるけれど、おすすめは宇宙飛行士。

宇宙飛行士になるために必要な訓練や、打ち上げ当日の様子、ISS（国際宇宙ステーション）についてならすることなど、宇宙飛行士について、くわしく知ることができます。

いつかあなたが、宇宙へ行く日が来たときのために、この本を読んで宇宙飛行士の体験をしてみましょ。

ねこまつりのしょうたいじょう



いとう みく/作

すずき まもる/絵

金の星社[913イト]

アイスのあたり棒に「アタリ ネコゾク ネコまつり ゴショウタイ」の小さな文字を発見した小学3年生の耕太。

あやしいと思いながらも、さんかく山に行くと、ペットでものらでもない、200匹のネコゾクのねこがいました。耕太は、12年ぶりに「ねこまつり」が開催されることを喜ぶネコゾクたちに、まつりに必要な3つの供物を探して、そろえてほしいとたのまれます。

供物を知る指導役のタマジロウとともに、耕太の奮闘がはじまります。

み あなやま ひみつ たんけん  
三つ穴山へ、秘密の探検



パール・オーロフ・エンクイスト/作

ひしき あまらこ  
菱木 晃子/訳

なかむら えつこ  
中村 悦子/絵

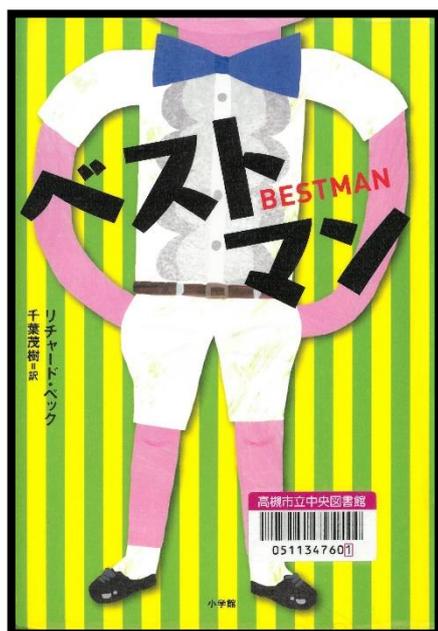
あすなろ書房[949エ]

おじいちゃんのたてた秘密の計画は、4人の孫と2匹の犬をメンバーに探検隊をつくり、3つのどうくつがある三つ穴山へ登ること。三つ穴山は1000mをこえる高い山で、クマやおオカミがすんでいる。

1つ目のどうくつに着いて、必要な食料を運び入れた一行は、1頭の大きなクマがのっしのっしこちらに近づいてくるのに気づいた。こちらを見ている。おじいちゃん、どうしよう！

スウェーデンの大自然の中での子どもたちの大ぼうけん、人と野生動物との関わりについても考えさせられます。

ベストマン



リチャード・ペック/作

ちば しばき  
千葉 茂樹/訳

小学館[933ペツ]

シカゴに家族とくらす、いわゆるふつうの小学生のぼくにも、家や学校でじけんは起きる。たとえば、初めて出席した結婚式で、みんながぼくのおしりに大注目するというはずかしいことになったり、軍服を着た教育実習生が、ヘリコプターで学校にやって来たり、大好きなぼくのおじさんから、カレシのことを打ち明けられたり、まあこんな感じだ。

こうしてすごした6才から12才の間に、ぼくは「ベストマン」、すなわち大きくなったらかうなりたいと思う人を、みつけたんだ。